

大雨に伴う中央本線被災状況について

平成26年7月9日（水）の大雨に伴う中央本線南木曾駅～十二兼駅間の被災状況について、お知らせします。大規模な土石流により橋桁が流出するなど、大規模な被害が出ています。本日も大型の台風8号の接近により、現在も避難勧告が出ており、詳細な確認はできておりませんが、現時点で判明しているところでは、この区間の運転再開には少なくとも1ヶ月以上はかかる見込みです。

1. 被災概要

(1) 被災区間：中央本線 南木曾駅～十二兼駅間

(2) 主な被災状況 … 別紙参照

①橋桁流出

②土砂流入（長さ約300m、流入量約1,500m³）

③架線断線

※当該区間は土石流が発生する前の16時44分から上下線で運転を見合わせており、列車が巻き込まれるなどの被害はありません。

2. 7月10日（木）の運転状況

○特急列車「ワイドビューしなの」は、26本を全て運休します。

○特急列車以外の運行状況は以下の通りです。

・名古屋駅～中津川駅間：通常通り運転しています。

・中津川駅～上松駅間：終日運転を見合わせます。

※本日のバス代行輸送の計画はありません。

・上松駅～塩尻駅間：運転していますが、一部の列車は運休します。

①橋桁流出(梨沢橋りょう)



②土砂流入



③架線断線

